

平成30年度進行管理・評価シート
水戸市歴史的風致維持向上計画（平成22年2月4日認定）
（最終変更平成25年3月29日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 ①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討/②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進/③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 水戸市景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 弘道館公園整備事業	3
2 備前堀沿道地区都市景観形成助成事業	4
3 北三の丸通り道路景観整備事業	5
4 水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金	6
4 交付事業	
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財指定, 調査, 保存活用計画策定等の推進	7
2 文化財の修理, 整備, 防災事業の推進	8
3 文化財に関する普及・啓発の推進	9
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	10
1 「水戸城大手門 梁や柱を復元」他	
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	12

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討 ②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進 ③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	○水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ：計画の推進及び改定に係る課題の調査及び検討 ○水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会：計画の策定及び推進に伴う庁内の連絡調整を所掌 ○水戸市歴史的風致維持向上計画協議会：地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第11条第1項の規定により組織。計画の策定及び変更並びに実施に係る連絡調整を所掌		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成21年度より主要事業に順次着手しており、「水戸市補助機関に関する規定」に基づき、文化財保護行政を統括する教育部長を委員長に、都市計画行政を統括する都市計画部長を副委員長に置き、庁内の関係課長をもって組織する「水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会」を設置し、本計画の推進及び第2期計画の策定などに関する各部課間の合意形成及び連絡調整を行った。 【各会議の実施回数】 水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会(4回) 水戸市歴史的風致維持向上計画協議会(3回)			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	水戸市歴史的風致維持向上計画(第2期)に基づく事業の推進に向けて、引き続き関係者・関係機関との連携に努めながら、十分な調整を図っていく。		
状況を示す写真や資料等			
水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会 (委員長:教育部長, 副委員長:都市計画部長, 委員:政策企画課長, 交通政策課長, 財政課長, 市民生活課長, 商工課長, 観光課長, 建設計画課長, 道路管理課長, 建築課長, 都市計画課長, 建築指導課長, 公園緑地課長, 市街地整備課長, 教育企画課長, 学校施設課長, 歴史文化財課長) ○第1回:平成30年4月16日開催 ・「水戸市歴史的風致維持向上計画(第2期)」策定基本方針素案について ○第2回:平成30年6月20日開催 ・「水戸市歴史的風致維持向上計画(第2期)」について ○第3回:平成30年7月31日開催 ・「水戸市歴史的風致維持向上計画(第2期)」(素案)について ○第4回:平成30年9月20日開催 ・「水戸市歴史的風致維持向上計画(第2期)」(素案)について 水戸市歴史的風致維持向上計画協議会 (会長:学識経験者, 委員:県関係課長及び市関係部長) ○第1回:平成30年5月21日開催 ・平成29年度進行管理・評価シートについて ・「水戸市歴史的風致維持向上計画(第2期)」策定基本方針(案)について ○第2回:平成30年10月1日開催 ・「水戸市歴史的風致維持向上計画(第2期)」(素案)について ○第3回:平成30年12月19日 ・「水戸市歴史的風致維持向上計画(第2期)」(案)について			
			
		水戸市歴史的風致維持向上計画協議会	

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度
水戸市景観計画の活用		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

水戸市景観計画に基づき、重点区域内の4つの地区(三の丸周辺地区、偕楽園周辺地区、保和苑周辺地区、備前堀周辺地区)を重点的に景観形成を図る地区として位置づけ、それぞれの景観形成方針の下に重点的に景観形成を図ることとしている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①大規模建築物等の景観誘導:水戸市景観計画(平成20年度策定)及び水戸市都市景観条例(平成4年度施行)により、良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)の事前届出制度による景観誘導を図った。(平成30年度届出件数:47件(水戸市全域))
- ②高度地区による建築物の高さの制限:重点区域を含む市街化区域全域(既に高さ規制のある地域を除く)について、高度地区の都市計画決定(平成22年度)により、歴史的資源や自然景観の保全、良好な住環境の保全及び秩序ある都市環境の創出を図った。
- ③屋外広告物の行為の制限:水戸市屋外広告物条例(平成22年度施行)により、重点区域内の「偕楽園・千波湖周辺地区」及び「弘道館周辺地区」を屋外広告物特別規制地区に指定することで規制を強化し、良好な眺望景観の保全を図った(平成30年度許可件数:555件(水戸市全域))。平成30年度には、弘道館周辺地区で区域を拡大した。既存不適格広告物に関しては、これまで条例に適合するよう是正指導を行い、撤去又は改修を促し、一定の効果をあげた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

水戸市景観計画ほか景観関係施策に基づき、歴史的資源や自然景観の保全を引き続き実施する。

状況を示す写真や資料等

①大規模建築物等の景観誘導

良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)について、事前届出制度による景観誘導を図っている(対象区域:水戸市全域)。

②高度地区による建築物の高さの制限

重要な歴史的資源や自然等の良好な景観を保全する地区については、地域の特性に応じた規制値を設定した。

【良好な景観を保全する地区】

- 水戸駅北口地区、●弘道館周辺地区、●芸術館周辺地区、●偕楽園周辺地区、●備前堀周辺地区、他

③屋外広告物の行為の制限

弘道館や偕楽園等の水戸を代表する魅力ある眺望景観の保全を図るため、水戸市景観計画において、屋外広告物の行為の制限について特に重点的に景観形成を図る区域と位置づけた区域を、「屋外広告物特別規制地区」に指定した。これらの地区については、高い位置に設置が可能となる屋上利用広告物などを規制することにより、良好な眺望景観を保全することを目指す(条例第6条)。

【規制内容】

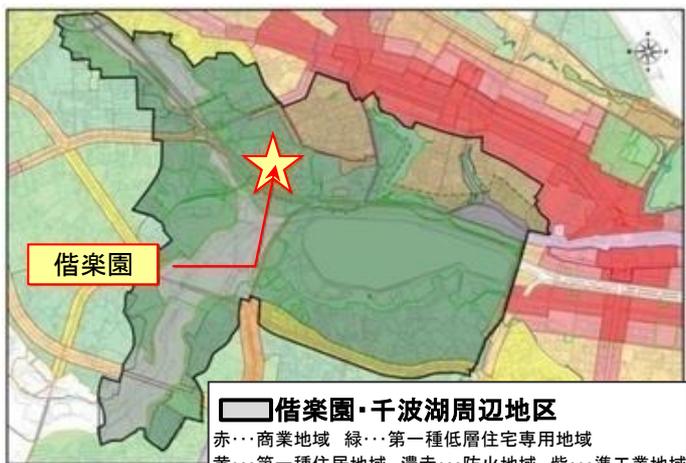
これらの地区では、次の屋外広告物は表示できない。

- アドバルーン ●屋上利用広告物 ●電光装置等を用いる屋外広告物(電光ニュース・ビジュアルボード等)

また、次の基準を満たす必要がある。

- 表示面積の1/4を超えて彩度8を超える色彩を使用しないこと。 ●蛍光、発光又は反射を伴う塗料又は材料を使用しないこと。 ●ネオン、点滅する照明、回転灯等を使用しないこと。

屋外広告物特別規制地区



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況

弘道館公園整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	---

事業期間 平成21年度～

支援事業名 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業費国庫補助

計画に記載している内容 保存活用計画の策定, 施設の保存修理, 案内施設の整備等

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

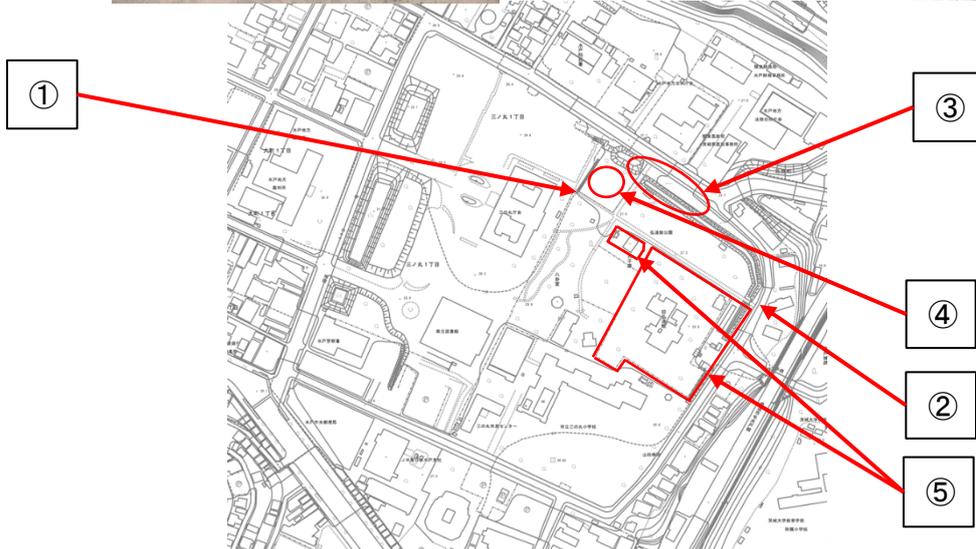
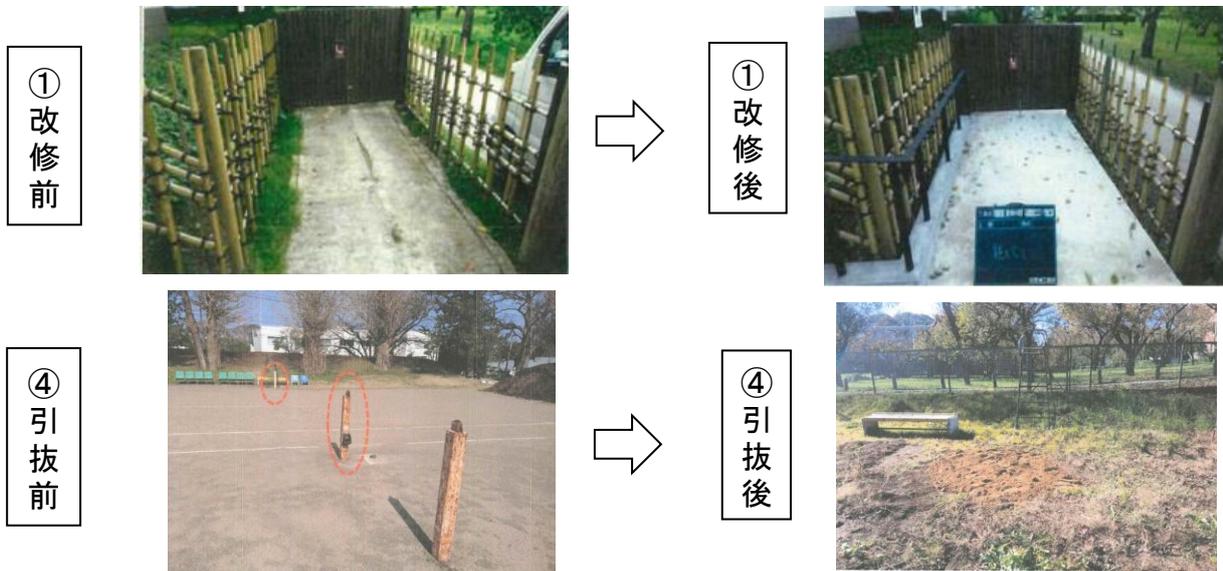
弘道館の歴史性を踏まえた環境整備を進め, 文化的価値の向上を図るため, 平成30年度は次に掲げる事業に着手した。

- ①退出専用口(スロープ改修)
- ②管路敷設替え
- ③電柱・支線・接地撤去
- ④テニスコート支柱引抜
- ⑤土塀の耐震改修

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない
 保存活用計画に基づき文化財の価値が最大限に発揮できる整備を引き続き実施する。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
備前堀沿道地区都市景観形成助成事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成15年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	備前堀沿道区域における優れた都市景観づくり(備前堀の持つ歴史性と調和した和風による統一感のあるまちなみの形成)に寄与する行為に対して、助成金を予算の範囲内で交付する。

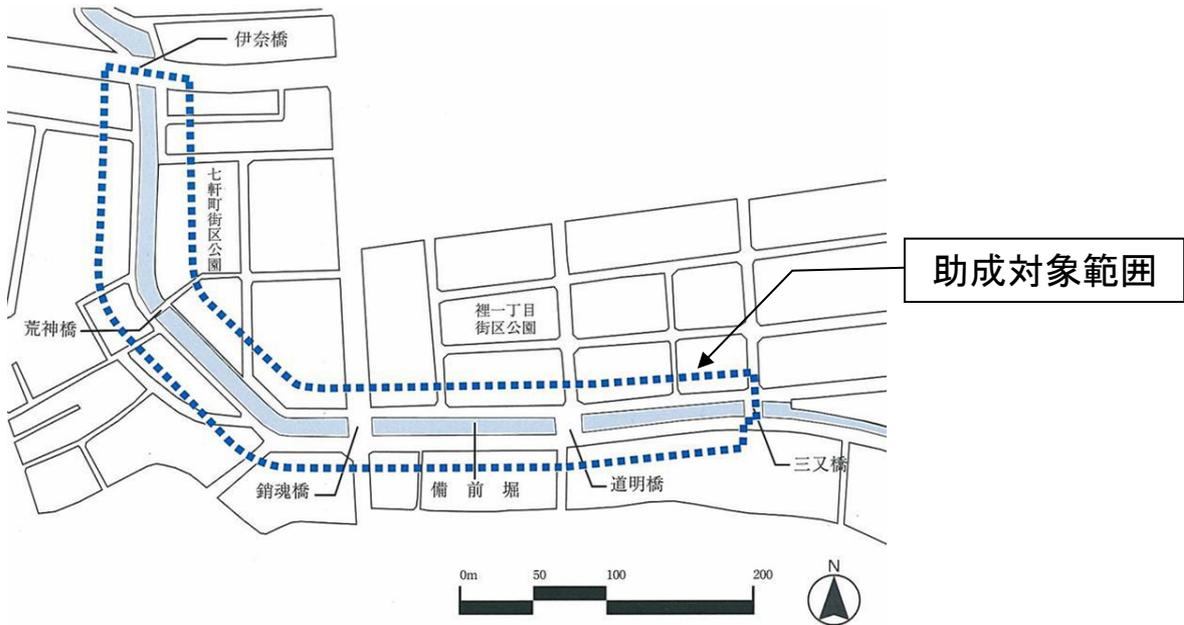
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度助成事業としては、助成対象範囲の土地購入者から助成金について3件の相談があったが、条件に合致せず、申請がなされなかった。(申請相談者との協議・相談については随時実施している。)
 ※備前堀景観推進協議会との打ち合わせ2回

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	該当区域の建造物12件の助成を行っており、着実に進捗している。更なる助成に向け、今後も地元の景観推進団体である「備前堀景観推進協議会」とも意見交換を行いながら積極的に支援を行い、備前堀の歴史性を活かしたまちなみ形成の維持向上に努める。

状況を示す写真や資料等

備前堀沿道地区都市景観形成助成事業対象範囲



**評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
北三の丸通り道路景観整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～平成30年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
計画に記載している内容	北三の丸通り(都市計画道路3・4・14号栄町若宮線)の道路改良・電線共同溝事業を実施し、周辺地区の歴史的風致の維持及び向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は、延長70mの電線共同溝工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

道路景観整備事業

①
整備前



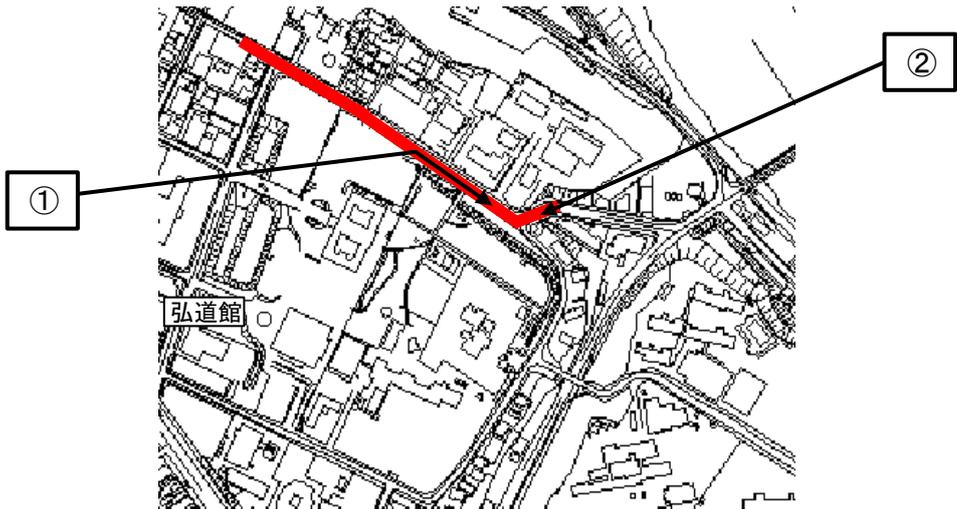
整備後



②
整備前



整備後



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	無形民俗文化財等の伝承保存及び後継者育成を図るため、市内の民俗芸能団体の活動に対し補助金を交付し、重点区域を含む各地域の歴史的風致を生かした魅力あるまちづくりを、官民協働により推進する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
○助成団体：6団体（大串ささらばやし保存会、大野みろくばやし保存会、杖友会、向井町散々楽保存会、水戸若鷺会、水戸市郷土民俗芸能団体協議会） ・助成金総額：2,360千円			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	民俗芸能継承者の高齢化等により、活動の継承や発表の場の確保の面で課題が生じていることから、風土記の丘ふるさとまつりや水戸市郷土民俗芸能のつどい等、各地域内のイベントへの参加を促し、伝統芸能の伝承、公開に努める。		

状況を示す写真や資料等

風土記の丘ふるさとまつり
 開催日：平成30年11月11日
 開催場所：大串貝塚ふれあい公園



大串のささらばやし(大串ささら保存会)



大野のみろくばやし(大野みろくばやし保存会)

消防出初式

開催日：平成31年1月13日
 開催場所：千波公園西駐車場



はしご乗り(水戸若鷺会)

水戸市郷土民俗芸能のつどい
 開催日：平成31年2月24日
 開催場所：水戸芸術館



田谷の棒術(杖友会)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財指定、調査、保存活用計画策定等の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 市内に存在する歴史的に価値の高い文化財を、取扱に関する啓発の不足、開発及び生活環境の変化による消滅・損壊から積極的に保護するため、種類別に調査を実施し、実態の把握や文化財の指定に努め、効果的な保存・管理を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【平成30年度水戸市指定文化財】

①八幡宮の大ケヤキ

指定年月日：平成31年2月8日

【平成30年度に実施した文化財の調査】

- ①石河明善日記(市指定文化財)の翻刻(21回)、関連講座の開催(2回)
- ②市指定天然記念物ヒカリモ(備前町)の調査(8回)
- ③国指定史跡台渡里官衙遺跡群の発掘調査

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

平成30年に策定した水戸市文化財保護・保存・活用基本計画(第2次)に基づき、地域において守り伝えられている歴史的資源の調査を実施し、実態の把握や文化財の指定に努める。

状況を示す写真や資料等

平成30年度 市指定文化財



全体



八幡宮の大ケヤキ

拡大



石河明善日記の調査

文化財の調査

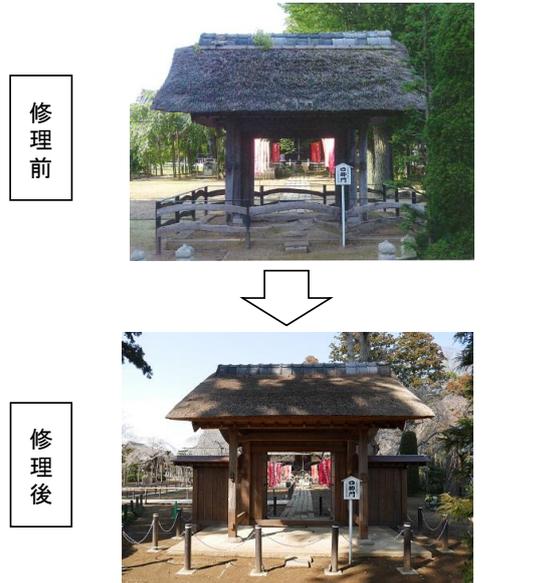
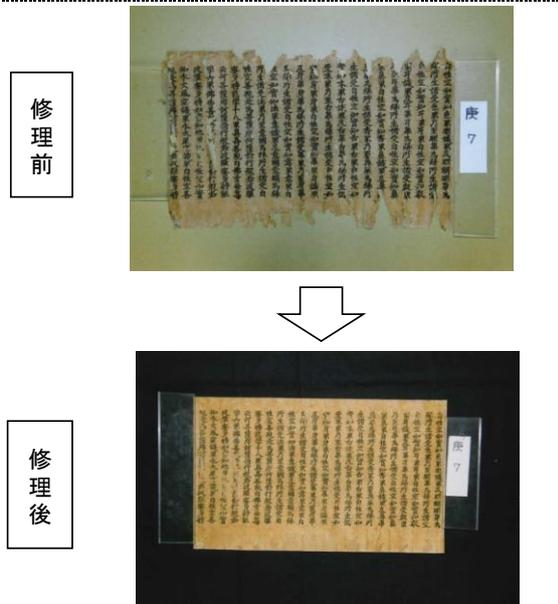


ヒカリモの調査



台渡里官衙遺跡群発掘調査

評価軸④-2
文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財の修理、整備、防災事業の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	【文化財の修理・整備】文化財に対する保護・整備を拡充するため、所有者・管理者等との連携を図り、必要に応じて修理・整備に努める。 【文化財の防災】防災体制、設備の整備を図るとともに、防災訓練や啓発事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【文化財の修理事業】 ○六地藏寺典籍文書保存修理事業 昭和48年から、六地藏寺に伝わる六地藏寺所蔵典籍・文書(県指定文化財)の保存修理を順次実施し、平成30年度は、「大般若経」など計22点の文書等の裏打ち補修を実施した。 ○四脚門修理事業(六地藏寺) 平成23年3月に発生した東日本大震災で、門全体のゆがみが生じたため、修復工事を進め、完成した。(～平成30年度)			
【文化財の防災事業】 ○文化財防火デーの実施(平成31年1月25日、於：埋蔵文化財センター、参加者41名) 埋蔵文化財センター及び近隣住民の協力のもと、市指定文化財「水戸地出土弥生・古墳時代折衷土器群」他7件が管理されているセンター内の展示室からの出火を想定した防災訓練を実施した。また、文化財の日常的な見回り等の防犯体制の保持強化について、文化財所有者や近隣住民に対して注意喚起を行った。			
【文化財の整備事業】 ○文化遺産説明板等の設置 先賢志士指導標柱修繕 14基(常磐共有墓地、江林寺、清蔵寺) 指定文化財 八幡宮の大ケヤキ(八幡町)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の防火・防災については、今後も周辺地域による協力体制の強化と定期的な訓練を実施していくことが重要である。 文化財の修理・整備については、文化遺産説明板等の老朽化が目立つため、計画的に修繕を進める。		
状況を示す写真や資料等			
【文化財の整備事業】  <p>修理前(倒壊)</p> <p>修理後</p> <p>先賢志士指導標柱修繕(清蔵寺)</p>  <p>修理前</p> <p>修理後</p> <p>四脚門修理事業(六地藏寺)</p>		【文化財の修理事業】  <p>修理前</p> <p>修理後</p> <p>六地藏寺典籍文書保存修理事業</p>	
		【文化財の防災事業】  <p>文化財防火デー 開催日：平成31年1月25日 開催場所：埋蔵文化財センター</p>	

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	平成30年度

項目	現在の状況
	文化財に関する普及・啓発の推進
<input checked="" type="checkbox"/> 実施中	
<input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 史跡めぐりや水戸郷土かるた関連事業をはじめとする各種普及・啓発事業を推進し、市民の歴史・文化に対する意識向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【平成30年度に実施した主な文化財普及・啓発関連事業】

- ①平成30年4月1日～15日・8月1日～15日・12月20日～平成31年1月14日 文化財ライトアップ 場所:水戸市水道低区配水塔
- ②平成30年7月21日・9月8日 かやぶき体験教室 場所:埋蔵文化財センター 参加者:92名
- ③平成30年8月2日・15日 博物館「わたしは戦争を忘れない-未来に伝えたい記憶-」 場所:県立歴史館 参加者:338名
- ④平成30年8月2日・7日 水戸郷土かるためぐり 場所:弘道館ほか4か所 参加者70名
- ⑤平成30年7月29日・8月19日・11月11日 勾玉をつくろう 場所:埋蔵文化財センター 参加者:217名
- ⑥平成30年8月18日 ダイダラボウ大昔たいけん隊 場所:埋蔵文化財センター 参加者:90名
- ⑦平成30年9月1日 明治維新150年記念日本遺産講演会「日新塾を考える」 参加者:130名
- ⑧平成30年10月5日・11日 史跡めぐり 場所:横山大観生誕の地・六角堂茨城県天心記念五浦美術館 参加者:80名
- ⑨平成30年10月13日 秋の植物観察会 場所:逆川緑地公園 参加者:17名
- ⑩平成30年10月27日・11月24日 水戸歴史講座「石河明善と弘道館」「石河明善日記に見る明治維新」 場所:博物館 参加者数:79名
- ⑪平成30年11月3日～平成31年2月24日 明治維新150年記念企画展 水戸“市”、発掘。～遺跡からみた水戸の近現代～ 場所:埋蔵文化財センター 来館者:3,500名
- ⑫平成30年11月10日 明治維新150年記念 横山大観生誕150年記念セミナー 参加者:450名
- ⑬平成30年11月11日 風土記の丘ふるさとまつり 場所:埋蔵文化財センター 来園者:6,200名
- ⑭平成31年1月12日～27日 水戸郷土かるた大会(予選) 場所:市内各所 参加者:1,713名
- ⑮平成31年2月10日～3月17日 明治150年記念 特別展「水戸城遥かなり」 場所:博物館 来館者数:5,726名
- ⑯平成31年2月16日 水戸郷土かるた中央大会 場所:見川総合運動公園 参加者:354名

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
 □計画どおり進捗していない
 今後も引き続き、本市の歴史的資源について、地域に向けた積極的な発信に努めるとともに、本市の魅力向上に向けた普及・啓発事業を推進する。

状況を示す写真や資料等



①文化財ライトアップ



②かやぶき体験教室



③わたしは戦争を忘れない
-未来に伝えたい記憶-



④水戸郷土かるためぐり



⑤勾玉をつくろう



⑥ダイダラボウ大昔たいけん隊



⑧史跡めぐり



⑩水戸歴史講座
「石河明善日記に見る明治維新」



⑪水戸“市”、発掘。
～遺跡からみた水戸の近現代～



⑫横山大観生誕150年記念セミナー



⑬風土記の丘ふるさとまつり



⑯水戸郷土かるた中央大会

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
水戸市立博物館 きょう再開 耐震化 鉄道テーマ 企画展	平成30年4月1, 5日	朝日新聞
大手門復元寄付 水戸市が感謝状	平成30年4月7日	茨城新聞
水戸大神楽 総本家が感謝祭	平成30年4月7日	茨城新聞
日本最大規模の藩校 弘道館	平成30年4月8日	茨城新聞
偕楽園でお茶を楽しむ	平成30年4月8日	NHK
慶喜の肖像画特別展示 水戸・弘道館 下絵は初めて紹介	平成30年4月7, 12, 14日	東京, 茨城新聞
「水戸学に関心を」維新150年 市が周遊コース	平成30年4月13日	毎日新聞
水戸の梅まつり 観客数が1割減	平成30年4月18日	茨城新聞, 日経, 産経新聞
茨鉄線の動画上映 水戸市立博物館で企画展	平成30年4月20日	茨城新聞
『慶喜は孤高の存在』弘道館で講演会 人となり, 考え方解説	平成30年4月26日	茨城新聞
「一枚瓦城主」協力を 旧水戸城大手門復元	平成30年4月27日	茨城新聞
各地でさまざま こいのぼり 215匹春風になびく	平成30年5月1日	毎日新聞
弘道館の本開館 藩主の狙い解説 水戸で記念講座 祝詞も公開	平成30年5月9, 11日	茨城, NHK, 朝日新聞
「水戸学の道」に案内板	平成30年5月10日	茨城新聞
廃止47年 茨鉄線たどる 赤塚駅から御前山駅 全駅や路線図跡, 橋脚観察	平成30年5月18日	茨城新聞
偕楽園に満開の梅写真パネル贈呈	平成30年5月29日, 6月1日	茨城, 産経, 朝日, 毎日新聞, NHK
慶喜はコーヒー愛飲家 水戸・弘道館で講演会	平成30年6月14日	茨城新聞
ホテル光る森 再生活動	平成30年6月14, 15日	読売, 東京新聞
水戸城大手門復元 寄付確保へ瓦記念会	平成30年6月23, 24, 27日	読売, 東京, 朝日, 毎日新聞
江戸時代の石組み水路 水戸城跡調査で発掘 県教育財団	平成30年6月29, 30日	茨城, 東京, 毎日新聞
妖怪通し小道具紹介 水戸市立博物館で企画展	平成30年7月21, 22日	茨城, 読売新聞
黄金の輝き守れ 水戸の「ヒカリモ」	平成30年7月23, 29日	茨城, 読売新聞
身近な歴史資源保護 水戸市が地域文化財制度	平成30年8月1日	茨城新聞
国交省「歴まちカード」発行 旧弘道館など2種類	平成30年8月17, 21, 22, 23日	毎日, 産経, 茨城, 読売新聞
水戸城の模型完成し内覧会	平成30年8月31日, 9月1, 2日	茨城, 読売, 産経新聞, NHK
偕楽園できょう「萩まつり」開幕	平成30年9月1, 4日	茨城, 毎日新聞
陰から陽 藩主のこだわり	平成30年9月27日	朝日新聞
目指せ 日新塾復元 幕末期の私塾 年内にも再建委発足	平成30年9月30日	茨城新聞
東湖の書「麗澤」公開 (弘道館)	平成30年10月3日	茨城新聞
水戸城周辺の景観保全	平成30年10月6日	茨城新聞
吉田神社の秋季例大祭	平成30年10月10日	茨城新聞
水戸の歴史, アニメで 市制作 授業, 観光施設で放映へ	平成30年10月23, 24, 25, 11月7日	茨城新聞, NHK, 朝日, 読売新聞
水戸城 角櫓復元へ起工式 20年9月完成へ 観光振興に期待	平成30年10月26日	茨城新聞
明治・大正の水戸 追体験 市博物館特別展 写真や資料, 模型180点	平成30年10月27日	茨城新聞
水戸城大手門 梁や柱を復元 完成祈り上棟式	平成30年11月8, 9日	茨城, 朝日, 産経, 東京新聞

評価対象年度 平成30年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 令和元年度第1回水戸市歴史的風致維持向上計画協議会

会議等の開催日時: 令和元年6月26日(水) 午後1時30分～午後2時30分
(会場: 水戸市役所5階 会議室502)

(コメントの概要)

1 進捗評価シートについて

(1) 弘道館の整備事業について(3頁)

県では、弘道館隣接のテニスコート跡地において、北柵御門の復元工事が始まると聞いている。旧弘道館保存活用計画に基づく中長期的な整備事業が今後も展開されると思われるため、県と市とでより一層連携して整備事業に取り組んでいただきたい。

(2) 水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業について(6頁)

水戸市郷土民俗芸能のつどいが開催された。こういった形で郷土の伝統的な芸能が広くお披露目の機会を得ることは大変喜ばしいことである。また、民俗芸能団体への補助金交付は、担い手の減少が問題視される情勢にあって、数少ない支援の一手として意義深いものとする。今後も郷土の民俗芸能を盛り立てていただきたい。

2 第2期計画の認定について

第2期計画が滞りなく国の認定を受けたと聞き、安堵するとともに、今後の10年間は、第1期以上に水戸市ならではの歴史と風格の感じられるまちづくりを志向し、各事業を遅滞なく進めなければならぬと感じた。県や市にあっては今後も緊張感を持って事業を執行していただきたい。

3 歴史的風致形成建造物について

第1期において指定された歴史的風致形成建造物は4件であった。第2期においてはより一層の市民の歴史的風致保存の意識醸成も志向し、指定件数の拡大を目指すべきではないか。物件の所有者ともよく協議し検討していただきたい。

その他 水戸城大手門等復元整備について

大手門が9月に完成し、その姿が披露される。国体の時期に間に合うスケジュールとなりまずは安心した。また、二の丸角櫓についても棟上げとなり、順調に復元工事が進んでいると感じた。特に二の丸角櫓は、水戸の玄関口である水戸駅北口から見えるため、水戸の第一印象としての大きな役割を持つことになる。その分市民からの期待も大きいと言えるため、引き続き円滑に事業を進めてもらいたい。



協議会の開催状況

(今後の対応方針)

- ・第2期においても本市ならではの歴史と風格を感じられるまちづくりを志向し、県や関係機関と緊密に連携を図りつつ、計画内各事業を進めていく。
- ・本市の一大プロジェクトである水戸城大手門及び二の丸角櫓・土堀の整備事業も終わりが見えてきたが、最後まで慎重に事業を進めていく。
- ・歴史的風致形成建造物の指定件数の拡大について、事務局内部及び市文化財保護審議会において協議し、第2期計画における指定の方針について検討する。